

遠藤 智子 議員

「新潟県東部太陽光発電所(仮称)」の建設について

質問 着工から稼働までについて伺う。

答弁 平成22年8月着工、23年後半に発電開始を予定する。

質問 建設工事に当市内業者の参入の可能性について伺う。

答弁 設計施工を含めた一括発注の予定で参入は厳しい。

質問 部分的な工事箇所市内業者の参入機会を、市長はトップセールスで努力すべきだ。

答弁 努力します。

質問 雇用の見込みについて伺う。

答弁 遠隔監視で行う予定で雇用の期待は薄い。

質問 当市へのメリットを伺う。

答弁 県交付金として固定資産税

村上 清彦 議員

定住施策

質問 エコ住宅の建設、エコ住宅へのリフォームに対して住宅版エコポイントを発行する制度が創設される。この制度を活用し、当市でも景気、雇用、地域活性化のための効果的な施策を実施すべきである。見解を伺う。

答弁 エコポイント交換事業について、今後商品及び提供事業者の募集に関する情報提供を行ってきたい。また、地元業者の利用促進についても広報等で呼びかけたい。

読書活動の推進

質問 教育の根本は「自分で問題を発見し、解決できる能力を育てること」とあるが、*レファレン

相当額が交付され、初年度土地分約139万円、償却資産分、約917万円と試算される。

意見 当市でも公共施設において太陽光発電等の設置を図り、CO2削減に取り組んでほしい。



東部産業団地のメガソーラー発電所イメージ

子宮頸がん予防接種の公費助成と予防接種の周知について

質問 近年、子宮頸がんは20代、30代の若い世代に発症が高くなっているが、ワクチンの予防接種で発症の7割が防げると聞く。ワクチンの接種年齢は10代前半の女子からが望ましく、6カ月間に3回の接種が必要、費用が約5万円程度となり高額のため公費負担の声が聞かれる。予防接種で発症の7割が防げる意義は大きい。当市でも接種費用助成の検討、市民への予防接種の周知について見解を伺う。

答弁 予防ワクチン接種については、「任意接種」となっており助成は現在では考えていない。予防接種については健康教育の充実で周知を図り、また早期発見の重要性から検診の場を土曜日にも設定するなど、受診機会の拡大、受診率の向上に取り組む。

再質問 公費助成の必要性について。

サービスなど読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るために小中学校の司書の配置は重要であると考えているが、見解を伺う。

答弁 子どもの読書意欲の向上など効果が見込まれることから、有効な施策であることは十分に認識しているが、学校現場の状況や要望を十分斟酌しながら検討していきたい。

介護予防・支援の取り組み

質問 稲城市の制度が有名だが、介護支援ボランティア制度の取り組みが全国的な広がりを見せている。高齢者が地域で活躍できる環境づくり、元気な高齢者が支え手になる取り組みが必要である。当市では制度導入についてどのような考えを持っているのかを伺う。

答弁 稲城市で実施しているのは、65歳以上の高齢者がボランティア



ONEW KOMITO

*レファレンスサービス

図書館司書が調べものの参考になる本の紹介や最適な情報を探し出すお手伝いをするサービス

中島 正昭 議員

市道若葉町安野川線供用開始後の懸念について

質問 水原駅から国道への道路は交通量が多く、若葉町安野川線の供用開始後はますます混雑と危険が伴うことと思う。市として枝線の充実には早急な施策課題と思うが、今後の対応・計画を伺う。

答弁 質問の道路は都市計画道路として決定され、他の都市計画道路との整合性を図り整備を検討する必要がある。しかし、街路事業として水原駅前地区の整備を早急に行うことは多額の費用を要することから困難、質問の箇所のみを市単独事業で行うにも用地、建物等の補償に高額な財政負担が必要となる。今年度の経済危機対策事業は用地・物件補償を伴う事業が



水原駅 国道49号の道路 朝の混雑の様子

山積する行政課題に対処した2年間について

質問 市長就任折り返しにあたり数多抱える行政課題(経済・財政、福祉の道の駅、郷病院、副市長を

高橋 幸信 議員

「京ヶ瀬地区市民交流エリア」再構築関連について

質問 1月、2月と2回の「京ヶ瀬地区市民交流エリア」に係る懇談会で、出席されたメンバーからどのような意見が出され、今後どう対応するのか考えを伺う。

答弁 12月議会の高橋議員の質問を受け、2回懇談会を開催した。出席いただいた方は、市内の農協、商工会、観光協会、経済界、農村女性グループ、地域審議会及び地元自治会の総勢20名でした。意見は2回とも、「福祉の道の駅事業の復活」「福祉の道の駅計画を基本に再構築すべきだ」という意見が多数でした。今後は、この意見を踏まえ新年度早い時期に検討委員会を設置し、具体的な内

容について検討していきます。
再質問 懇談会に出席された方から「市長は、この事業をやりたくないような発言に終始し、真意が分からない。」と聞いた。これまでの市長の言動からも、非常に不安がある。本当に整備する気があるのか。また今後の検討委員会で「福祉の道の駅」が良いということになったら了承するのか。
答弁 整備は行う。検討委員会の意見は尊重したい。

公共施設の再整備計画について

質問 旧4町村時代から引き継いだ数多くの公共施設は、いずれも老朽化が目立つ。昨年の6月にも質問したが、検討の経過と今後の対応の方針を伺う。

答弁 昨年の質問を受け、市長部局の施設は「公共施設の再整備に関する指針」を定めた。市民の理解を得ながら対応していきたい。



昭和49年建築 老朽化した京ヶ瀬体育館

小学校は、「第2次整備計画」に近いうちに説明できる。生涯学習課所管の施設は、「再整備検討委員会」を立上げ、素案では施設の長寿化を図り10年間は現行体制を維持し、その後は、施設の集約化を図る必要があると考えている。
その他の質問
○指定管理者制度の公募の実績と評価及び今後の計画について

含む職員の問題、議会対策、市民とのコミュニケーション等)遂行の率直な感想と、今後の阿賀野丸継続就航への計画と野望を伺う。
答弁 この2年間、各種行事への出席、訪問者の対応、関係機関への挨拶、担当課から施策の説明を受け、事業実施・経費支出の決裁と、まさに寝る暇もないというのはこのことかと思つてほごであった。
幾多の場面での議員皆様からのご協力・ご理解、ご指導・ご助言に感謝すると共に、市政を円滑に運営するには、議員の皆様と私たちが互いの立場を尊重することなしにはうまくいかないというのが率直な感想である。
残りの任期を各種行政課題にしっかりと取り組むことが私の責務であると考え、その後の評価は市民に委ねたいと思う。